

“地場産品基準と共存共栄” “みんなで創る地場産品” ふるさと納税型クラウドファンディング 「#ふるさと納税3.0」新プロジェクト続々始動！

- ✓ 本日（8/18）11:00より、令和5年度の新たなプロジェクトの寄附募集を開始
 - ✓ 市の特設サイト「さのちよく」にて先行受付、民間ポータルサイトにおいても順次受付を開始
 - ✓ 新たに25のプロジェクトがCF※1を開始（予定）、過去最多の28のプロジェクトがCFを実施
- ※1 CF…クラウドファンディング

泉佐野市（市長：千代松 大耕）は、2023年8月18日（金）11:00より、ふるさと納税型クラウドファンディング「#ふるさと納税3.0」の新たなプロジェクトの寄附募集（資金調達）を開始しました。

泉佐野市は北海道や九州のような1次産業の産品に恵まれた地域であるとは言えませんが、だからこそ、これまでも事業者様の創意工夫により、泉州タオルをはじめとした数々の地場産品が生み出されてきました。

「#ふるさと納税3.0」は、この動きを加速するべく泉佐野市が発案した取り組みで、新たな地場産品の創出を目的に2020年11月から実施しており、2020年度は、約5.5億円、2021年度には約20億円、2022年度に約44億円の資金調達に成功するなど年々注目度を増してきており、この取り組みにより株式会社ヤッホーブルーイング（代表取締役社長：井出 直行）のブルワリー誘致をはじめ、多くの新たな地場産品を創るプロジェクトの事業化に成功しています。

また、2023年4月に開催された説明会には、68社97名の参加をいただきました。この取り組みは、企業や個人事業主等からご注目いただいているだけでなく、多くの自治体や議会から当該取り組みについての視察やお問い合わせをいただいております。既に他の自治体においても同様の取り組みが実施されるなど、全国に広がりを見せています。

4年目となる2023年は、過去最多の25件のプロジェクトの申し出があり、第1弾として、本日、16件のプロジェクトがスタートします。残りの9件については、準備が整い次第開始していく予定です。なお、2022年より継続しているプロジェクトが3件あり、2023年のプロジェクト数は合計28件となり、これも過去最多となります。

<#ふるさと納税3.0とは？>

「#ふるさと納税3.0」は、ふるさと納税型クラウドファンディング（以下：CF）の一種で、企業（又は個人事業主等）と自治体が共同してプロジェクトを立ち上げ、ふるさと納税の寄附者による支援により、新たな地場産品を創り出す仕組みです。本取り組みは、地場産品を創出することで、新たな産業を生み出し、新たな雇用を創出し、地域の活性化を目指すものです。また、新たに創り出された地場産品をふるさと納税の返礼品として提供いただくことで寄附の増大にもつなげます。

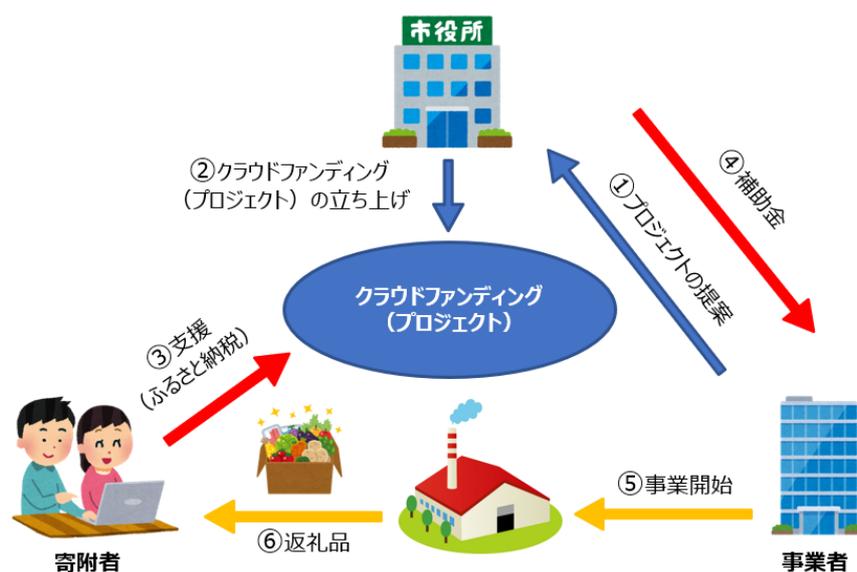
具体的には、泉佐野市内で新たな地場産品を製造、加工、開発いただける事業者を募り、プロジェクト単位でふるさと納税型クラウドファンディングを実施します。寄附金が目標に達成した事業者に対して、寄附金の40%を事業開始（イニシャルコスト）に対する補助金として交付します。残り60%の内30%は、寄附者へのリターン（返礼品）、あとの30%は市の経費（返礼品送料、委託料ほか）となります。

事業者は、新たな事業展開のための資金調達ができることはもちろん、新規事業としては不安なスタート時の売上げについても CF 実施時に一定の受注が確保できるほか、CF 終了後はふるさと納税に参画することで、継続して受注が見込めるというメリットがあり、企業や個人事業主のスタートアップ支援となります。

また、この取り組みは、新たなふるさと納税で新設された「地場産品規制」により、地場産品資源の豊富な自治体とそうでない自治体に格差をもたらしている問題にも対応していけるものと考えています。

<#ふるさと納税 3.0 スキーム図>

- ① 事業者が市に対し新たな地場産品を創るプロジェクトを提案
- ② 市にプロジェクトが採択されれば、CFを立ち上げる
- ③ 寄附者は応援したいプロジェクトにふるさと納税（寄附）で支援をする
- ④ 目標額を達成すれば、市から事業者に補助金が交付される
- ⑤ 事業者は、事業を開始する
- ⑥ 事業者は、プロジェクトを応援いただいた寄附者に新たに創り出した地場産品を返礼品として贈る



<なぜ、3.0なのか？>

「#ふるさと納税 3.0」は、泉佐野市が考える独自の概念です。ふるさと納税は、2014 年頃から、返礼品による「還元（お得感）」がフォーカスされ一躍ブームに発展しました。このフェーズを「ふるさと納税 1.0」と考えています。その後、返礼品による寄附誘引が批判されるようになり、災害復興を支援したり、地域問題解決のため資金調達をする GCF（ガバメントクラウドファンディング）など、ふるさと納税で「応援（支援）」する仕組みが生まれました。このフェーズを「ふるさと納税 2.0」と考えています。

しかし、ふるさと納税による応援や支援の輪は広がりつつありますが、返礼品を目的に寄附をされるほうが圧倒的に多いのが現実です。そこで、1.0の「還元」と2.0の「応援」の要素を組み合わせたハイブリッド型として考案したのが「#ふるさと納税 3.0」です。「還元」という返礼品の魅力はそのままに、企業や自治体を「応援」するという要素が合わさりますので、これまでの返礼品のみによる寄附誘導の仕組みでは困難であった寄附者と地方のつながりを強くすることが実現でき、より多くの共感をいただけるものと考えています。

現在、ふるさと納税は、地場産品規制の影響もあり、北海道や九州など、地場産品資源の豊富な地域に寄附が集中するという二極化の状況にあります。しかし「#ふるさと納税 3.0」は、集まった寄附で全ての経費を賄うスキームであるため、自治体の環境にあまり左右されず実施可能な取り組みと考えています。この取り組みが全国の自治体に広がるようにとの想いを込めて「#（ハッシュタグ）」を付け加えました。

<最近の 3.0 を取り巻く状況>

総務省の地場産品基準改正により「#ふるさと納税 3.0」の取り組みで創出された「熟成肉」が危機的状況！

本市の熟成肉は総務省が掲げる、「新たな地域資源の創出」「地域における新たな雇用の創出」「地域経済の活性化に大いに寄与」という、ふるさと納税制度における地場産品に対する考え方と一致する「地域資源」です。

本年6月27日に総務省より10月からの指定に向けた改正の通知が発出され、「食肉の熟成」と「玄米の精白」の原材料については、返礼品の提供を行う市町村が属する都道府県内で生産されたものに限るという改正がなされました。

本年10月から当該改正が適用されると、該当する返礼品の関連事業者にとっては、年間約10億円余りの売上が減少することが予想され、地元事業者や地域雇用に対する影響は甚大なものと考えております。今回の急激な改正に伴う影響の大きさを鑑み、本市は総務省に対しての質問書を、大阪府を通じて送付いたしました。混乱を回避しうる明確な回答をいただくことはできませんでした。

地場産品基準が策定された際、地場産品が無いのであれば創意工夫すればいいという過去の総務大臣の発言もあり、当該基準との共存共栄を目指し、事業者は基準に適合する他地域に負けない返礼品を提供できるよう工夫を重ねてまいりましたが、今回の通知により1次産業の産品が少ない都道府県に属する自治体では、「食肉の熟成」と「玄米の精白」については、事業者がどれだけ工夫しても供給される原材料の絶対量が少なく※2、競争力を持つことは非常に難しい状況です。また、「食肉の熟成」と「玄米の精白」の両方の規制の影響を大きく受けるのは、全国的に見ても泉佐野市の事業者だけという状況であり、今回の規制は「ふるさと納税で地方創生」という総務省が掲げる理念に著しく反する内容ではないかと本市は考えております。

※2 政府統計の総合窓口「e-Stat」によると大阪府の肉用牛の飼育頭数順位は全国46位、米の都道府県別収穫量順位は全国44位

<各プロジェクトの概要紹介>

▶泉佐野 海産物ブランド最大化プロジェクト



【プロジェクト概要】

泉佐野の海産物ブランドを作り上げ、全国の食卓に、もっと美味しい海産物をお届けするプロジェクトです。

食卓に「美味しい」の声が溢れることで、ご家族と過ごされる大切な時間を彩ることができるように、スタッフ一丸となって頑張っております。

応援よろしく申し上げます！

▶『人生に寄り添うタオル』製造現場公開プロジェクト



【プロジェクト概要】
 “人生に寄り添う”をコンセプトに、生まれた時からずっと Shinko Towel のタオルを選んでいただけるよう、ベビーブランド、ライフスタイルブランド、ホテルクオリティーブランドをご用意し、他にはないタオルの使い心地とともに一貫した世界観をご提供しています。今回、皆様にご覧いただける空間づくりをご提供出来る返礼品をご用意しています。

▶あなたもいっしょに「SDG s」ふとんリサイクルプロジェクト



【プロジェクト概要】
 古ふとんを廃棄せず、様々な素材や製品としてリサイクルさせる事業を展開しています。現在、日本国内には廃棄待ち布団類が約 12 億枚あるといわれていますが、一方で日本での綿花自給率は、ほぼ 0% であります。日本を「廃棄大国」から「リサイクル資源大国」へ！これが我々の願いです。ふとんリサイクルプロジェクトにチャレンジします。

▶フードロス削減！泉佐野干し芋加工場建設プロジェクト



【プロジェクト概要】
 市場で売れ残り大量に積まれているサツマイモが目にし、これらのサツマイモを有効に活用することができればフードロス削減にもつながるのでは？と考案したのがこのプロジェクトです。新たな農作物の加工品を年間を通して生産することができれば、雇用が安定し、生産性も向上して好循環が生まれ、それが地域貢献につながると考えています。

▶『えごま』de「元気！&キレイ♡」WaiWai プロジェクト



【プロジェクト概要】
 「えごまの実」を栽培してきましたが、今回のプロジェクトで、原材料の卸に留まらず、泉佐野市において「えごまオイル」の自社製品化にチャレンジします。担い手である事業所に通われている障がい者の皆様の生活の質の向上につなげることを目的としたプロジェクトです。応援、宜しくお願いします。

▶働き甲斐と美味しいを両立させたい！ 泉佐野食肉加工所創設プロジェクト



【プロジェクト概要】
 熊本県において就労継続支援 A 型事業所と共にブランドを立ち上げ商品化し、県の品評会でも入賞するなどの実績を挙げました。今回、泉佐野市においても、A 型事業所との連携により、地域の雇用を生み出し、地域にも貢献出来るようなプロジェクト展開を目指して参ります。是非応援下さい！

▶“ワンフローズンサーモン”生産・出荷体制強化プロジェクト



【プロジェクト概要】
 好きな寿司ネタランキングで常に上位に入るサーモン。弊社ではルウェーのサーモンを生のまま空輸し、関西空港のすぐそばの加工所で原魚から骨、皮を除去し、裁割・切り落とし加工を施し、高鮮度のままワンフローズン処理をしております。このアトランティックサーモンをもっと多くの方々にお届けしたい。そんな想いから、今回クラウドファンディングに挑戦します。是非応援を宜しくお願いします。

▶牛タンと蕎麦のコラボレーション！牛タン蕎麦の郷 創造プロジェクト



【プロジェクト概要】

今回、牛タンを手打ち蕎麦と組み合わせることで、泉佐野発祥の新名物として“牛タン蕎麦”を提唱します。いわば鴨せい蕎麦の鴨肉を牛タンに置き換える訳ですが、今までありそうでなかったものです。恐らく全国で初めての試みである「牛タン蕎麦」を日本全国に広め「牛タン蕎麦といえば泉佐野」と称されることを目指すプロジェクトです。

▶「こがしバターケーキ」生産能力強化プロジェクト



【プロジェクト概要】

「こがしバターケーキ」はむか新で一番人気の看板商品です。2002年に販売開始し、2022年に20周年を迎えました。世界の品評会である『モンドセレクション最高金賞(2023)』、『ITI 優秀味覚賞三つ星(2023)』にも選ばれています。こがしバターケーキを世界に！を目指して生産能力の強化を目的としたプロジェクトです。

▶「泉州元気ハラミ」品質向上&生産能力大拡充プロジェクト



【プロジェクト概要】

「泉州元気ハラミ」が全国の皆様に認知され、かつ安定した品質を確保できたことにより、多くの皆様にリピートしていただいております。今回、より安定した増産体制、物流改善、さらなる品質向上を目標に掲げ、新たなプロジェクトにチャレンジしますので「泉州元気ハラミ」の応援を宜しくお願いいたします。！

▶インテリアに調和する家電関連ファニチャー泉佐野モデル創造プロジェクト



【プロジェクト概要】

インテリアに溶け込む家電関連のファニチャーは、高級輸入家具では存在するものの、低価格帯で洗練された商品はまだまだ少ないのが現状です。今回、泉佐野市内において、国内製造にこだわり、日本国内の高品質な木材を使用した製品を生み出すプロジェクトに挑戦します。是非、ご賛同、ご支援をお願いします！

▶ぬか漬け革命！水なすの洋風白ぬか漬けプロジェクト



【プロジェクト概要】

食の西洋化が進み、ぬか漬けを知らない若い世代も増えてきました。また、水なすのぬか漬けは、食べるときに、ぬかを洗い落とし、またぬか自体を捨ててしまうなど、手間や廃棄の問題もあります。そこで、泉州地域の宝である「水なす」を、もっと手軽に、食べやすく、楽しんでいただきたいと考え、全く新しいぬか漬けの開発にチャレンジします。応援宜しくお願い申し上げます。

▶缶ビールで世界にはばたけ KIX BEER !



【プロジェクト概要】

瓶詰めのカラフトビールを製造してきましたが、ネックは流通過程における商品管理に手間が要ること（要冷蔵、賞味期限が短い、光による劣化が不可避等）と、流通のしにくさ（重い、割れやすい、重ねにくく梱包・流通コストが高いことなど）でした。今回、これらの課題を解決する為に、缶ビールの製造プロジェクトにチャレンジします！

▶“パティスリー”の作り立ての美味しさをそのままに” おうちスイーツ満喫プロジェクト！



【プロジェクト概要】

泉佐野市は山と海に囲まれた自然豊かな町で、四季折々に採れた旬のフルーツや農作物・畜産物はとても美味しいものばかりです。地域で採れた自然の恵みを使った美味しいスイーツをお届けして沢山の方に笑顔になっていただけたら。そんな想いでお菓子づくりのプロジェクトにチャレンジしますので、是非応援を宜しくお願い申し上げます。

▶泉州タオル技術を活かした高級ガーゼケット製造プロジェクト



【プロジェクト概要】

泉佐野市でオーガニックコットンを使った「泉州タオル」を企画・製造してきました。良質で人に優しいタオル、地球に優しいタオルを目指し、様々な商品開発に取り組んでいます。今回のプロジェクトで開発するガーゼケットによって、泉州タオルに新たなラインナップが加わり、メイドインジャパンの良さが再認識されるよう頑張りたいと思います。

▶安心・安全・高鮮度な返礼品をお届けプロジェクト



【プロジェクト概要】

弊社はサーモン原体を生のまま空輸し「HACCP」に基づく衛生基準のもと加工しており、寄附者様にお届けする迄に1度だけ凍結するワンフローズン加工を最大の特徴としています。このワンフローズン加工に拘り、安心・安全でワンフローズンの食感を楽しんで頂けるサーモンの供給量拡大のプロジェクトに取り組めます。是非、応援を宜しくお願い申し上げます。

▶特設サイト「さのちよく」「#ふるさと納税3.0」プロジェクト一覧

URL: <https://furusato-izumisano.jp/3/project.php>



なお、「#ふるさと納税3.0」の提案は、随時受付を行っており、近日中に追加でプロジェクトを立ち上げるほか、現在も複数のご提案、ご相談をお受けしており、今後も多くのプロジェクトが立ち上がる予定です。

泉佐野市では、今後も新たな仕組みをつくりだし、全ての自治体が公平な環境でふるさと納税に取り組めるよう、また制度が健全に発展していけるよう取り組んでまいります。

本件に関する報道機関の問い合わせ先

泉佐野市 成長戦略室 ふるさと創生課 :塩見（しおみ）、中嶋（なかじま）、林（はやし）

Tel: 072-463-1212(代表) / FAX: 050-3488-2033 / Email: furusatotax@city-izumisano.com